

人権デーだより

NO.146

2021.5.13(木)発行
弓削高校人権委員会

☆ アイヌの人々の伝統文化を知っていますか？

<p>ITAK 〔イタク：ことば〕 〔→私たちのことば〕</p>	<p>KAMUY 〔カムイ：神〕 〔→私たちの世界〕</p>	<p>CISE 〔チセ：家〕 〔→私たちのくらし〕</p>
<p>IKOR 〔イコロ：宝〕 〔→私たちの世界〕</p>	<p>MAKIRI 〔マキリ：小刀〕 〔→私たちのしごと〕</p>	<p>CIP 〔チフ：舟〕 〔→私たちの交流〕</p>



代表的なアイヌのことば

「聞いたことはあるけれど、よく知らないな。北海道に住んでいる人々のことだね。」

「社会科の時間に学んだことがあるから知っているよ！」

「最近、アイヌの暮らしに取材したアニメが人気だね！」



アイヌの伝統舞踊

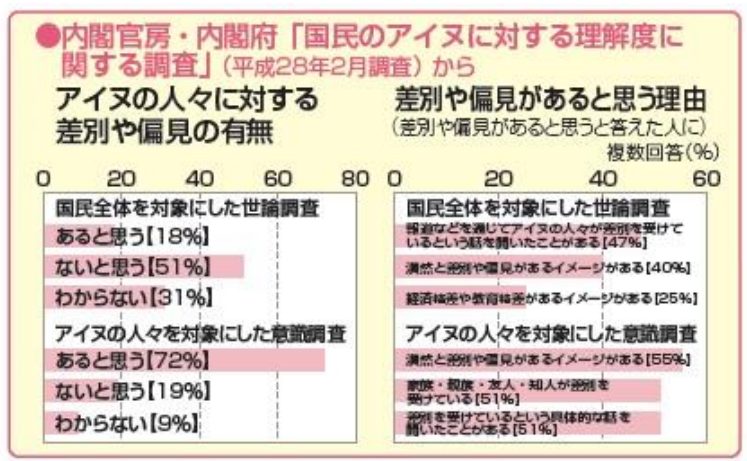
アイヌの人々は、固有の言語や伝統的な儀式・祭事、多くの口承文芸等、独自の豊かな文化を持っています。ところが、近世以降のいわゆる「同化政策」等により、今日では、その文化の十分な保存・伝承が図られているとは言い難い状況にあります。

特に、アイヌ語を理解し、アイヌの伝統等を担う人々の高齢化が進み、これらを次の世代に継承していく上での重要な基盤が失われつつあります。

☆ アイヌの人々に対する差別や偏見をなくそう

令和元年5月、「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」が施行されました。ここでは、アイヌの人々に対する差別等の禁止が強調されています。

一方で、平成28年の内閣府の調査によると、彼らに対して差別意識や偏見を持っている人々も存在していることがわかります。



☆ 差別や偏見をなくすためにできること

STEP1 正しい情報を知る、学ぶ。(正しい教育)

STEP2 相手の立場になって考える。(○共感や理解、×同情)

	共感	同情
理解する枠組	相手の世界	自分の体験や記憶・価値観
目線	同じ目線	少しの哀れみが入る。
成立するための人数	二人	一人でも可能
成立するタイミング	話し手が聞き手の言葉を受け取り、共感してくれたと感じた時。	聞き手が自分の体験に当てはめ『かわいそうに。大変だ。辛いだらう。』と感じた時。

STEP3 差別解消に向けて、周囲の人々に正しい知識を伝える。(啓発)



法務省の人権擁護機関では、アイヌの人々に対する偏見・差別をなくし、アイヌの人々に対する理解と認識を深めるよう、人権啓発活動や人権相談、調査救済活動に取り組んでいます。

愛媛に住む高校生の皆さんにとって、アイヌの人々と直に接する機会はなく、差別を目撃することや、彼らの悩みや苦しみを身近に感じることは少ないかもしれません。しかし、無知であるがゆえに、正しくない情報を審議することができず、その結果、漠然とした差別意識が生じる可能性もあります。

そのようなことを防ぐためにも、アイヌの人々の文化を「正しく知る」「尊重する姿勢を持つ」ことは重要です。 参考：法務省HP・文化庁HP「アイヌ文化の振興」



アイヌの人々が題材になった作品や書籍を見つけたら、ぜひ手に取り、理解を深めてみよう！